はじめに

文京区は、社寺や江戸時代の大名屋敷の跡地を中心に歴史的由来のある緑地が残され、また、文教地区として多くの大学が存在し、都会の中のオアシスとなる大規模なみどりがあります。

みどりは、憩いやふれあいの場として人々に安らぎを与えるレクリエーション機能だけでなく、防災、景観形成や環境保全の機能など、様々な役割を果たしています。

区では、令和元年度に「文京区みどりの基本計画」を策定し、公共施設や民有地を含めた総合的なみどりの保全と創出に取り組んでまいりました。この第9次文京区緑地実態調査は、区内のみどりの現況と経年変化を把握し、次年度の「文京区みどりの基本計画」の中間見直しに向けて、緑化施策の方向性を検討するための基礎資料とするものです。

今後も、目指す将来都市像である“歴史と文化と緑に育まれた、みんなが主役のまち「文の京」”の実現に向けて、文京区のみどりの充実と継承に取り組んでまいります。

最後に、調査の実施にあたり、多大なご協力をいただきました区民の皆様並びに関係各位に厚くお礼申し上げます。

令和6年3月

文京区長　成澤廣修